

巡検・セミナー開催のご案内

◆平成28年度第1回セミナーは6月の日本大学地理学科同窓会総会後に日本大学・日本地図学会との共催で開催する予定です。日程は未定ですが、詳細は当財団ホームページに掲載します。

◆平成28年度第1回巡検は「秩父」を予定しています。

開催日：平成28年秋（予定）

集 合：西武鉄道秩父駅前（予定）

本年4月9日に予定しておりました「秩父巡検」は都合により今秋に変更になりました。日程を検討し、ICIC

ニュース78号（8月1日発行）と79号（11月1日発行）に日程・ルートのお知らせと参加募集を行います。

◆平成28年度第2回巡検は、バス巡検とし「三浦半島」を予定しています。

開催日：平成29年春（2月末～3月を予定）

恒例のバス巡検は、河津桜の咲く三浦半島を巡検します。現在ルートの検討を行っています。日程などはICICニュース79号（11月1日発行）と80号（2月1日発行）でお知らせします。

展覧会情報

フランス国立図書館 体感する地球儀・天球儀展

期 間 前期 2月19日～5月22日

後期 6月3日～9月4日

会 場 DNP五反田ビル（東京都品川区）

電 話 03-5435-0880

サイト <http://museumlab.jp/bnf>

※観覧には予約が必要です（電話かWeb申込）

大日本印刷（DNP）は、フランス国立図書館（BnF）と共に世界屈指の地球儀・天球儀コレクションの3Dデジタル化に取り組み、この人類の遺産に多くの方に触れていただく機会として本展を開催いたします。会場では地球儀・天球儀10点と関連作品1点を、2期に分けて展示いたします。あわせて、展示作品の高精細3D画像を自由に回転・拡大しながら、地球儀が製作された時代の世界を読み解いたり、18世紀の天球儀の中心にヴァーチャルに入り、足元から天空まで360度ぐるりと星座を観察するなど、DNPミュージアムラボならではの体験をお楽しみいただけます。デジタル化により示される新しい視点から、先人たちが見た世界を改めて発見する機会となるでしょう（Web紹介文書より）。

古絵図大集合 出羽一國大絵図展

期 間 4月29日～5月26日

会 場 致道博物館（鶴岡市）

電 話 0235-22-1199

「出羽一國之絵図」（県文）をはじめ城下絵図・国絵図・日本全図から世界地図まで江戸時代の絵図を紹介。山形県立博物館ほか出品。

絵図・地図ワンダーランド

期 間 4月9日～5月26日

DNP (BnF) Bibliothèque nationale de France

フランス国立図書館所蔵
歴史的地球儀・天球儀来目
3Dデジタルデータで、
〈世界〉を読み解く

BnF × DNP ミュージアムラボ Globes in Motion

フランス国立図書館 体感する地球儀・天球儀展

前期 2016.2.19 FRI - 5.22 SUN | 後期 2016.6.3 FRI - 9.4 SUN

DNP 五反田ビル | FRI | 18:00 - 21:00 | SAT-SUN | 10:00 - 18:00

主催 | DNP 大日本印刷 共催 | BnF フランス国立図書館 協力 | 日本郵政

<http://museumlab.jp/bnf> | 03-5435-0880

予約制・無料

会 場 茨城県立歴史館（水戸市）

電 話 029-225-4425

南蛮美術・古地図企画展 西洋との出会い

期 間 4月9日～5月29日

会 場 神戸市立博物館（神戸市中央区）

電 話 078-391-0035

大和名所絵図めぐりー一枚刷りに見る、ふるさとの風物ー

期 間 4月13日～6月6日

会 場 天理大学附属天理参考館（天理市）

電話 0743-63-8414

天理参考館が所蔵する江戸期から明治期にかけての日本各地の名所・寺社を描いた一枚物の刷物から、今回は大和(奈良)地方のものを集めて紹介。

ナショナル ジオグラフィック展-写真で伝える地球の素顔-

期間 4月15日~7月3日

会場 あーすぷらざ(横浜市栄区)

電話 045-896-2121

江戸の風景 ~町絵図を中心に

期間 5月17日~8月13日

会場 千秋文庫(東京都千代田区)

電話 03-3261-0075

江戸城絵図、江戸名所図会、江戸街分絵図、松平摂津守様御庭之図、吉良上野介屋敷之図、歌川広重「名所江戸百景」より春の景・夏の景から計16点を展示

mini地図NEWS

▶Magic Leapの複合現実 (Mixed Reality, MR)

フロリダに本社をかまえるMagic Leapは複合現実テクノロジーを開発中の企業です。まだ不明な点の多いこの技術。その最新のデモからは浮遊するクラゲやECサイトのほか、立体的な地形模型(映像ではエベレスト)が眼前に浮かび上がります。登山ルートなどがインタラクティブに表示されるこのデモ、ヘッドセットの使用も公開していませんが、地理教育に利用できるようになるかも知れませんね(写真はGIGAZINE)。

▶産業技術総合研究所の「活断層データベース」

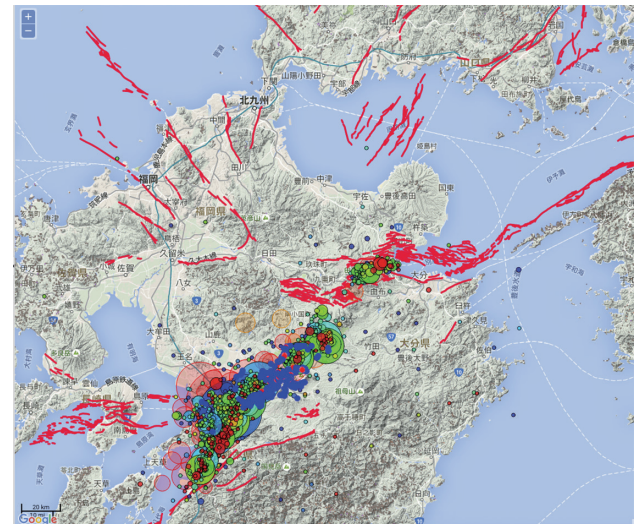
熊本県・大分県を震源とする地震、早く収束して欲しいと誰もが思っていることでしょう。こうしたなか、産業技術総合研究所が自治体や企業の防災計画の資料にしておらおうと一般公開している「活断層データベース」(https://gbank.gsj.jp/activefault/index_gmap.html)が注目を浴びています。このデータベースは、日本全国の活断層の分布が地図上で見られ、断層ごとの地下構造のデータや1923年以降に発生した地震の被害状況と震源地などのほか、最近2週間に発生したマグニチュード(M) 4.0以上の地震の震源を調べることができます(ハザードラボ)。

▶「チズキャラ」で楽しもう

内外地図(株)ではオリジナルキャラクターの「チズキャラ」をホームページで公開中。動物や妖怪、食べものやおもちゃまで。地図記号が隠れているかわいいキャラク



立体ムービーで表示されるエベレスト (Magic Leap)



熊本地震の震度と活断層を表示 (活断層データベース)

ターやアイテムで一杯のサイトです。下のキャラはほんの一例。親子で地図記号を探してみてもいいかが。内外地図(<http://www.naigai-map.co.jp>)の地図広場からどうぞ。

